

手 続 補 正 書  
(法第 1 1 条の規定による補正)



特許庁審査官 山崎 利直 殿

1. 国際出願の表示 PCT/J P 0 3 / 0 0 3 1 4

2. 出 願 人

名 称 日本製紙株式会社  
NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD.  
あて名 114-0002 日本国東京都北区王子1丁目4番1号  
4-1, Oji 1-chome, Kita-ku, Tokyo 114-0002 Japan  
国 籍 日本国 JAPAN  
住 所 日本国 JAPAN

3. 代 理 人

氏 名 (8970) 弁理士 社本 一夫  
SHAMOTO Ichio  
あて名 100-0004 日本国東京都千代田区大手町二丁目2番1号  
新大手町ビル 206 区 ユアサハラ法律特許事務所  
YUASA AND HARA, Section 206, New Ohtemachi Bldg.,  
2-1, Ohtemachi 2-chome, Chiyoda-ku,  
Tokyo 100-0004 Japan



4. 補正の対象 請求の範囲

5. 補正の内容 別紙の通り

請求項 1 を削除し、請求項 2、3、4 を補正した。  
請求項 2 は、従属項から独立項へ変更する補正を行ったが、実質的  
な内容は変更していない。

6. 添付書類の目録

請求の範囲第 1 7 頁

## 請求の範囲

1. (削除)

2. (補正後) 原紙上の顔料および接着剤を含有する塗工液を塗工する印刷用塗工紙の製造方法において、顔料 100 重量部に対してポリビニルアルコール (PVA) を 0.1 重量部以上 2.0 重量部未満含有した塗工液を、片面あたりの塗工量が  $7 \text{ g/m}^2$  以上となるようにフィルム転写方式で塗工することを特徴とする印刷用塗工紙の製造方法。

3. (補正後) 請求項 1 に記載のオフセット印刷用塗工紙の製造方法。

4. (補正後) 請求項 1 に記載のグラビア印刷用塗工紙の製造方法。

10 5. 原紙上の顔料および接着剤を含有する塗工液を塗工するオフセット印刷用塗工紙の製造方法において、顔料 100 重量部に対して助剤としてポリビニルアルコール (PVA) を 0.1 重量部以上 2.0 重量部未満、接着剤として澱粉を 2.0 重量部未満含有した塗工液を、フィルム転写方式で塗工することを特徴とするオフセット輪転印刷用塗工紙の製造方法。

15 6. 顔料 100 重量部に対して、接着剤の配合量が 18 重量部以下であることを特徴とする請求項 5 に記載のオフセット輪転印刷用塗工紙の製造方法。

7. 原紙上の片面あたりの塗工量が  $7 \text{ g/m}^2$  以上であることを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載のオフセット印刷用輪転塗工紙の製造方法。

20 8. フィルム転写方式の塗工において、トランスファーロールコーターを用いることを特徴とする請求項 5～7 のいずれかに記載のオフセット輪転印刷用塗工紙の製造方法。

9. 請求項 1～8 のいずれかに記載の製造方法で製造された印刷用塗工紙。